

歯科診療所での患者を対象とした調査結果と歯科疾患実態調査との関連性 に関する分析の追加実施

研究協力者 石塚洋一 東京歯科大学 衛生学講座 准教授
研究分担者 大島克郎 日本歯科大学東京短期大学 教授
研究分担者 福田英輝 国立保健医療科学院 統括研究官
研究代表者 三浦宏子 北海道医療大学歯学部 教授

研究要旨

【目的】

本研究は、厚生労働行政推進調査事業費（地域医療基盤開発推進研究事業）「歯科疾患実態調査の効率的・効果的な実施方法等に関する研究」（23IA2003）で解析した項目に加え、調査票情報を用いて、当該研究事業で全国の歯科診療所において令和4年歯科疾患実態調査と同様の調査項目を用いた患者を対象とした調査結果と令和4年歯科疾患実態調査との関連性に関する分析を追加実施することにより、歯科診療所等の協力を得た歯科疾患実態調査の実施可能性を検討することを目的とした。

【方法】

歯科診療所調査（厚生労働科学特別研究事業「我が国の歯科口腔保健の実態把握を継続的・安定的に実施する手法の開発のための調査研究」）の20歳以上84歳までの患者5,750名を対象とした。歯科疾患実態調査の結果は、二次利用申請で得られた「令和4年歯科疾患実態調査」のデータを用いた。本調査では、歯科診療所調査と歯科疾患実態調査の2群に分けて比較検討した。統計学的解析方法は、t検定を用いた。統計学的有意差は危険率5%未満のものとした。解析項目は、1人平均DMF歯数（DMFT指数）、1人平均未処置歯数、1人平均歯根面齲蝕（未処置歯）数、1人平均処置（充填、クラウン）歯数、1人平均喪失歯数、1人平均現在歯数、1人平均健全歯数とした。

【結果】

歯科疾患実態調査と比較して歯科診療所調査で高かったものは、1人平均DMF歯数（DMFT指数）、1人平均処置（充填、クラウン）歯数、1人平均現在歯数であった。一方、歯科疾患実態調査と比較して歯科診療所調査で低かったものは、1人平均歯根面齲蝕（未処置歯）数、1人平均喪失歯数、1人平均健全歯数であった。歯科診療所調査と歯科疾患実態調査で同様の傾向を示したものは、1人平均未処置歯数であった。

【結論】

パンデミック等で歯科疾患実態調査が中止となった場合にも実施可能な調査手法として、歯科診療所の受診患者を対象とした調査手法から、ある一定の精度で歯科疾患実態調査を補完するデータを取得できることが示唆された。しかしながら、歯科診療所データを利用する場合は、対象者が一般の生活者ではなく、歯科診療所を受診した（している）患者であるという特性を考慮する必要がある。

A. 研究目的

歯科疾患実態調査は、昭和 32 年から始まり、令和 4 年には第 12 回調査が実施された。当該調査の結果は、わが国の歯科保健の現状把握に用いられるとともに、今後の歯科保健対策の推進に向けた基礎的資料として広く活用されている。

歯科疾患実態調査の被調査者は、全国から無作為抽出されるため、国民の代表値であると考えられている。そのため、当該調査の結果は、「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」および「国民健康づくり運動プラン」における現状値の設定、および中間・最終評価時において参照される。しかしながら、第 12 回調査は、新型コロナウイルス感染症流行のため中止・延期となり、「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」および「健康日本 21（第二次）」の最終評価として参照できず、E 評価（評価困難）となる項目が発生した。

本研究は、厚生労働行政推進調査事業費（地域医療基盤開発推進研究事業）「歯科疾患実態調査の効率的・効果的な実施方法等に関する研究」（23IA2003）¹⁾ で解析した項目に加え、調査票情報を用いて、当該研究事業で全国の歯科診療所において令和 4 年歯科疾患実態調査と同様の調査項目を用いた患者を対象とした調査結果と令和 4 年歯科疾患実態調査との関連性に関する分析を追加実施することにより、歯科診療所等の協力を得た歯科疾患実態調査の実施可能性を検討することを目的とした。

B. 研究方法

2022 年 11 月 16 日から 11 月 30 日の期間に、全国の 8 都道府県（北海道・岩手県・東京都・岐阜県・京都府・広島県・高知県・長崎県）の県庁所在地とそれ以外の地域（人口が概ね 3,000 人～10,000 人の地域）の歯科診療所で実施した歯科診療所調査（厚生労働科学特別研究事業「我が国の歯科口腔保健の実態把握を継続的・安定的に実施する手法の開発のための調査研究」（22CA2030）²⁾）の 20 歳以上 84 歳までの患者 5,750 名を対象者とした。

歯科疾患実態調査の結果は、二次利用申請で得られた「令和 4 年歯科疾患実態調査」のデータを用いた。本調査では、歯科診療所調査と歯科疾患実態調査の 2 群に分けて比較検討した。統計学的解析方法は、t 検定を用いた。統計学的有意差は危険率 5%未満のものとした。

解析項目は、1 人平均 DMF 歯数（DMFT 指数）、1 人平均未処置歯数、1 人平均歯根面齲蝕（未処置歯）数、1 人平均処置（充填、クラウン）歯数、1 人平均喪失歯数、1 人平均現在歯数、1 人平均健全歯数とした。

C. 研究結果

1. 1人平均 DMF 歯数 (DMFT 指数)

歯科診療所調査では、歯科疾患実態調査と比較して、1人平均 DMF 歯数 (DMFT 指数) は、20～24、25～29、30～34、35～39、40～44、45～49、50～54、55～59、60～64、65～69、70～74 の年齢階級で高かった (表 1、図 1)。

表 1. 1人平均 DMF 歯数 (DMFT 指数)、年齢階級別 (20 歳以上 85 歳未満)

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)		1人平均DMF歯数 (DMFT指数)								
	診療所 調査	歯実調	総数			男			女		
			診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value
総数	5732	1942	16.75±7.651	15.97±7.655	<.001	16.80±7.794	15.91±8.073	0.004	16.72±7.549	16.02±7.310	0.007
20～24	306	52	6.73±5.959	3.50±4.137	<.001	6.97±6.139	3.13±4.994	0.003	6.61±5.875	3.79±3.374	<.001
25～29	359	38	9.41±6.740	5.29±4.942	<.001	9.44±7.392	5.00±4.261	0.002	9.39±6.243	5.46±5.381	0.003
30～34	328	74	10.82±6.785	7.36±5.585	<.001	10.99±7.089	7.73±6.125	0.016	10.70±6.580	7.07±5.169	<.001
35～39	421	83	11.96±6.861	8.67±5.271	<.001	12.56±7.270	7.31±5.895	<.001	11.59±6.576	9.67±4.577	0.016
40～44	342	116	14.73±6.538	10.46±5.152	<.001	15.16±6.781	9.79±5.668	<.001	14.43±6.362	10.91±4.758	<.001
45～49	492	145	15.05±6.517	12.42±5.780	<.001	15.04±6.628	11.82±6.018	<.001	15.06±6.452	12.86±5.597	0.005
50～54	470	155	16.79±5.709	14.34±5.880	<.001	16.26±6.129	14.97±6.766	0.156	17.16±5.380	13.89±5.161	<.001
55～59	437	137	18.46±5.962	14.95±5.555	<.001	18.02±6.658	13.94±5.357	<.001	18.78±5.380	15.55±5.614	<.001
60～64	432	177	18.88±5.681	16.46±6.476	<.001	18.97±5.909	16.57±6.790	0.003	18.81±5.512	16.36±6.221	<.001
65～69	473	220	19.86±5.639	17.45±6.187	<.001	19.61±6.212	16.88±6.602	<.001	20.05±5.166	17.92±5.796	<.001
70～74	521	305	20.58±5.914	19.02±6.123	<.001	19.73±6.553	18.66±6.576	0.137	21.19±5.334	19.30±5.737	<.001
75～79	453	258	21.49±5.777	21.14±6.178	0.438	21.25±6.300	20.76±6.937	0.522	21.70±5.292	21.47±5.399	0.692
80～84	698	182	22.35±5.814	22.40±6.252	0.923	22.01±6.203	22.60±6.508	0.435	22.60±5.509	22.20±6.031	0.540

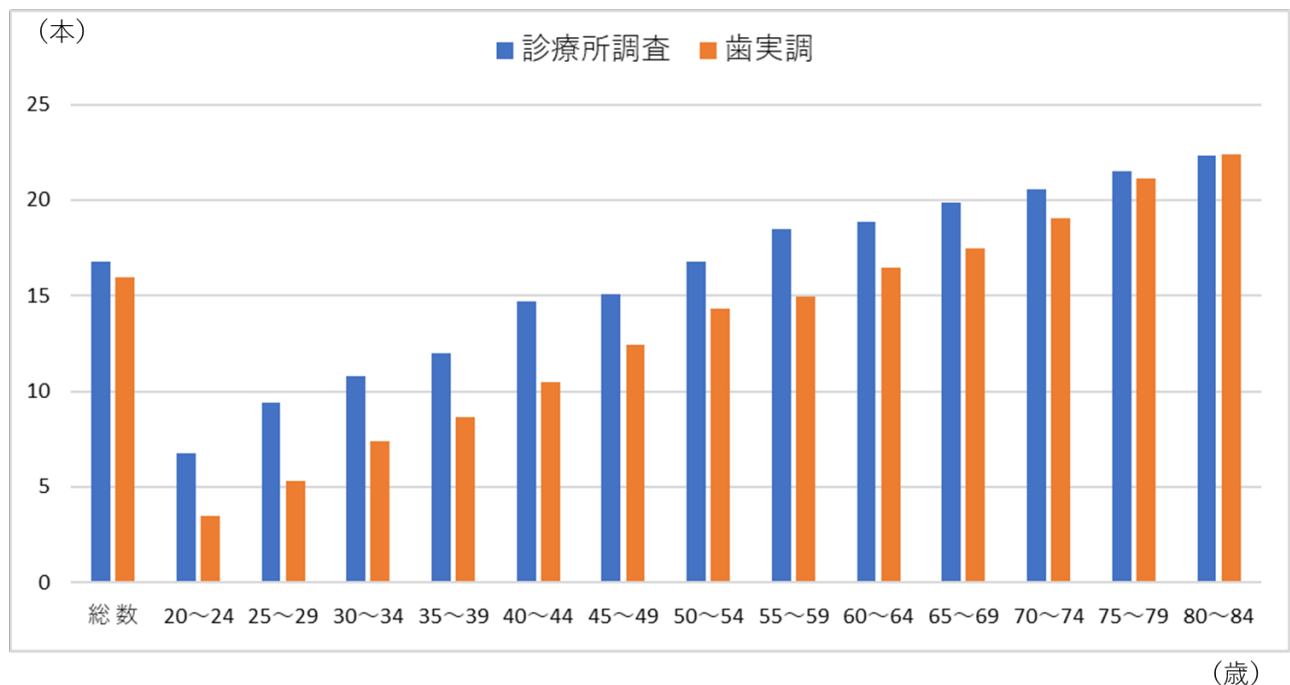


図 1. 1人平均 DMF 歯数 (DMFT 指数)、年齢階級別 (20 歳以上 85 歳未満)

2. 1人平均未処置歯数

歯科診療所調査では、歯科疾患実態調査と比較して、1人平均未処置歯数は、25～29、35～39、45～49の年齢階級で高く、65～69、70～74の年齢階級で低かった（表2、図2）。

表2. 1人平均未処置歯数、年齢階級別（20歳以上85歳未満）

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)		1人平均未処置歯数								
			総数			男			女		
	診療所 調査	歯実調	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value
総数	5732	1942	0.90±2.146	0.81±1.851	0.055	1.07±2.419	0.98±2.171	0.318	0.78±1.921	0.67±1.538	0.048
20～24	306	52	1.28±2.649	1.19±3.272	0.830	0.78±1.921	0.67±1.538	0.048	1.27±2.711	0.76±1.864	0.324
25～29	359	38	1.79±3.705	0.79±1.788	0.005	2.38±4.541	0.57±1.016	<.001	1.37±2.893	0.92±2.125	0.462
30～34	328	74	1.41±2.865	1.22±2.307	0.590	1.58±2.989	1.52±2.774	0.913	1.29±2.776	0.98±1.851	0.489
35～39	421	83	1.08±2.202	0.60±1.287	0.008	1.41±2.619	0.80±1.605	0.076	0.87±1.867	0.46±0.988	0.028
40～44	342	116	1.12±2.141	0.74±1.705	0.057	1.29±2.338	1.21±2.255	0.842	1.00±1.989	0.42±1.104	0.003
45～49	492	145	0.97±2.156	0.65±1.493	0.045	1.23±2.649	0.82±1.821	0.258	0.78±1.726	0.52±1.197	0.194
50～54	470	155	0.87±1.862	0.92±1.995	0.784	1.06±1.938	1.23±2.402	0.564	0.74±1.799	0.70±1.630	0.846
55～59	437	137	0.92±2.274	0.82±2.044	0.653	1.12±2.530	0.80±2.227	0.413	0.76±2.055	0.83±1.941	0.799
60～64	432	177	0.66±1.924	0.53±1.410	0.409	0.98±2.524	0.64±1.620	0.253	0.41±1.240	0.43±1.196	0.907
65～69	473	220	0.51±1.510	0.82±1.955	0.042	0.55±1.595	1.02±2.236	0.061	0.49±1.445	0.65±1.670	0.338
70～74	521	305	0.47±1.178	0.78±1.857	0.008	0.51±1.392	1.05±2.301	0.014	0.44±0.998	0.56±1.371	0.250
75～79	453	258	0.66±1.452	0.91±1.851	0.060	0.74±1.431	0.98±2.119	0.262	0.59±1.470	0.85±1.572	0.112
80～84	698	182	0.69±1.635	0.82±1.595	0.334	0.71±1.600	0.74±1.466	0.884	0.68±1.661	0.90±1.711	0.243

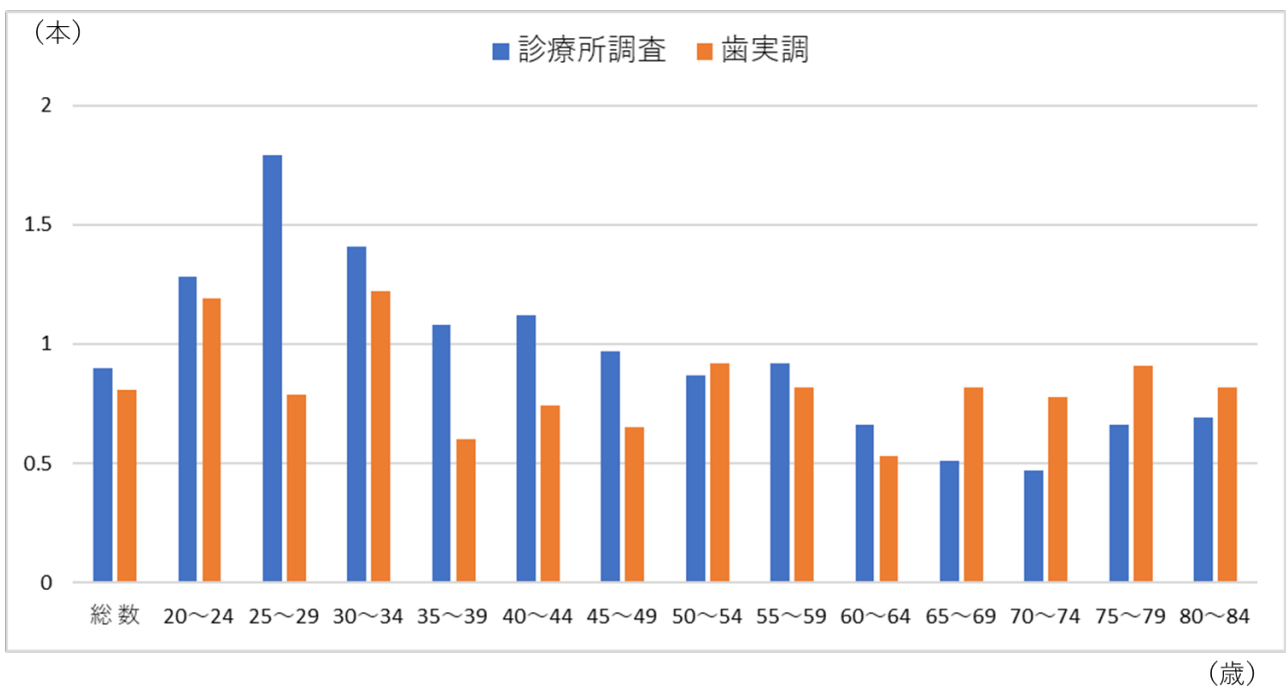


図2. 1人平均未処置歯数、年齢階級別（20歳以上85歳未満）

3. 1人平均歯根面齲蝕（未処置歯）数

歯科診療所調査では、歯科疾患実態調査と比較して、1人平均歯根面齲蝕（未処置歯）数は、70～74の年齢階級で低かった（表3、図3）。

表3. 1人平均歯根面齲蝕（未処置歯）数、年齢階級別（20歳以上85歳未満）

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)		1人平均歯根面齲蝕（未処置歯）数								
	診療所 調査	歯実調	総数			男			女		
			診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value
総数	5732	1942	0.09±0.591	0.17±0.838	<.001	0.10±0.645	0.19±0.952	0.010	0.09±0.549	0.16±0.736	0.005
20～24	306	52	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25～29	359	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30～34	328	74	0.02±0.227	0.23±0.635	0.277	0.02±0.258	0.48±2.438	0.284	0.02±0.203	0.02±0.156	0.913
35～39	421	83	0.02±0.257	0.01±0.110	0.690	0.03±0.392	0.03±0.169	0.975	0.01±0.107	0.00±0.00	0.454
40～44	342	116	0.07±0.444	0.04±0.243	0.489	0.04±0.356	0.06±0.323	0.717	0.09±0.496	0.03±0.169	0.107
45～49	492	145	0.08±0.452	0.06±0.395	0.752	0.05±0.289	0.08±0.331	0.403	0.10±0.534	0.05±0.436	0.452
50～54	470	155	0.09±0.652	0.15±0.601	0.302	0.13±0.683	0.13±0.454	1.000	0.06±0.630	0.16±0.687	0.205
55～59	437	137	0.14±0.865	0.20±1.145	0.481	0.20±1.135	0.25±1.683	0.801	0.09±0.590	0.17±0.654	0.301
60～64	432	177	0.14±0.917	0.08±0.335	0.426	0.18±1.124	0.12±0.425	0.661	0.11±0.721	0.05±0.226	0.421
65～69	473	220	0.13±0.576	0.16±0.687	0.520	0.19±0.784	0.18±0.669	0.930	0.08±0.336	0.14±0.705	0.369
70～74	521	305	0.08±0.386	0.31±1.210	0.002	0.05±0.307	0.38±1.435	0.009	0.11±0.433	0.25±0.993	0.077
75～79	453	258	0.17±0.706	0.25±0.800	0.196	0.12±0.439	0.20±0.609	0.230	0.22±0.870	0.30±0.941	0.392
80～84	698	182	0.17±0.779	0.24±0.920	0.321	0.17±0.748	0.17±0.530	0.972	0.18±0.801	0.31±1.173	0.300

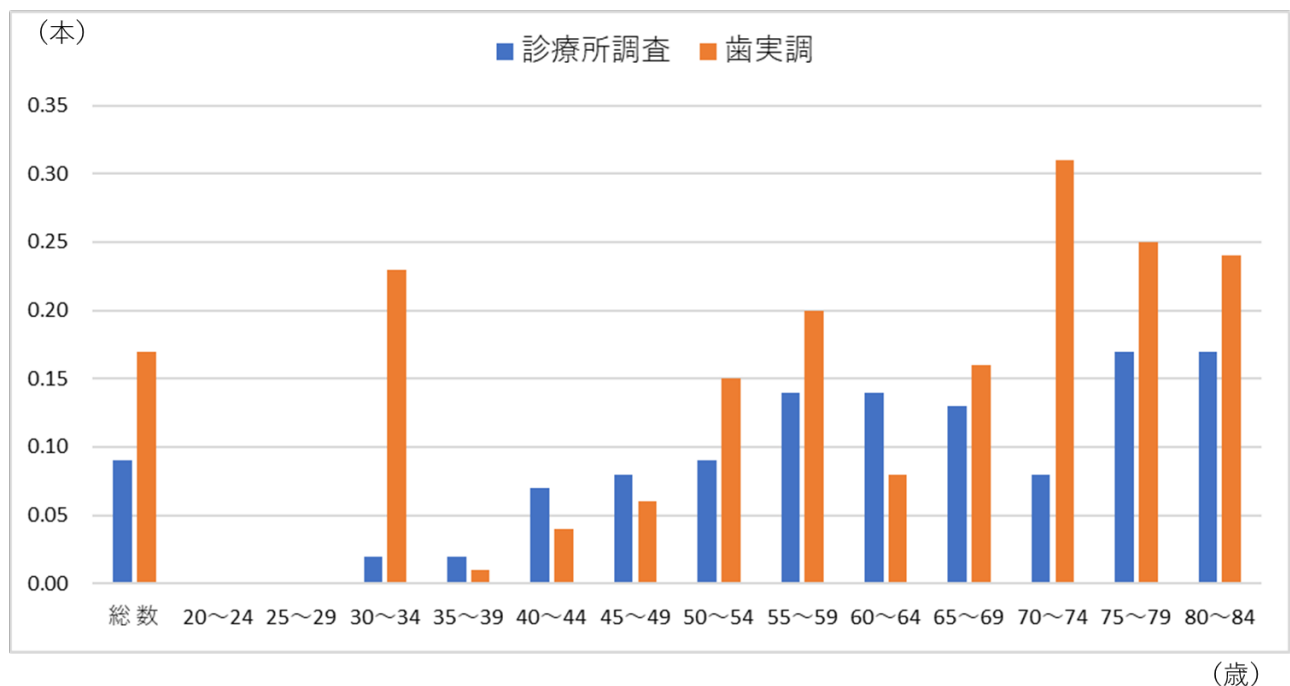


図3. 1人平均歯根面齲蝕（未処置歯）数、年齢階級別（20歳以上85歳未満）

4. 1人平均処置（充填、クラウン）歯数

歯科診療所調査では、歯科疾患実態調査と比較して、1人平均処置（充填、クラウン）歯数は、20～24、25～29、30～34、35～39、40～44、45～49、50～54、55～59、60～64、70～74、75～79、80～84の年齢階級で高かった（表4、図4）。

表4. 1人平均処置（充填、クラウン）歯数、年齢階級別（20歳以上85歳未満）

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)		1人平均処置歯数								
	診療所 調査	歯実調	総数			男			女		
			診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value
総数	5732	1942	11.67±6.347	10.22±6.119	<.001	11.19±6.384	9.18±6.145	<.001	12.02±6.298	11.05±5.973	<.001
20～24	306	52	5.15±5.049	2.06±2.453	<.001	5.50±5.239	1.30±2.010	<.001	4.97±4.950	2.66±2.636	<.001
25～29	359	38	7.13±5.849	4.37±4.213	<.001	6.73±6.007	4.36±3.815	0.150	7.42±5.729	4.38±4.509	0.005
30～34	328	74	8.80±6.268	5.68±4.230	<.001	8.84±6.505	5.67±4.648	0.002	8.78±6.114	5.68±3.921	<.001
35～39	421	83	10.13±6.185	7.40±4.951	<.001	10.44±6.420	5.86±5.489	<.001	9.94±6.037	8.52±4.233	0.051
40～44	342	116	12.56±6.103	9.25±4.981	<.001	12.89±6.460	8.21±5.030	<.001	12.33±5.845	9.96±4.858	0.001
45～49	492	145	12.64±5.945	10.92±5.156	<.001	12.19±6.123	10.21±5.222	0.015	12.95±5.812	11.44±5.076	0.032
50～54	470	155	13.90±11.52	11.52±5.697	<.001	12.97±5.431	11.31±6.379	0.065	14.54±4.937	11.67±5.196	<.001
55～59	437	137	14.22±5.813	12.01±5.431	<.001	13.09±6.111	11.16±5.357	0.042	15.06±5.443	12.52±5.442	<.001
60～64	432	177	13.58±5.502	12.24±5.592	0.007	12.33±5.823	10.84±5.784	0.054	14.53±5.050	13.48±5.138	0.088
65～69	473	220	13.03±5.552	12.16±5.633	0.058	11.91±5.654	11.25±5.364	0.327	13.88±5.329	12.94±5.760	0.121
70～74	521	305	12.48±5.910	11.13±5.874	0.002	11.19±5.776	9.52±5.608	0.008	13.40±5.840	12.42±5.779	0.079
75～79	453	258	12.15±6.057	10.00±6.822	<.001	11.78±6.384	8.33±7.064	<.001	12.45±5.757	11.52±6.242	0.142
80～84	698	182	11.93±6.468	8.97±6.588	<.001	11.50±6.559	8.43±6.516	<.001	12.24±6.391	9.48±6.649	<.001

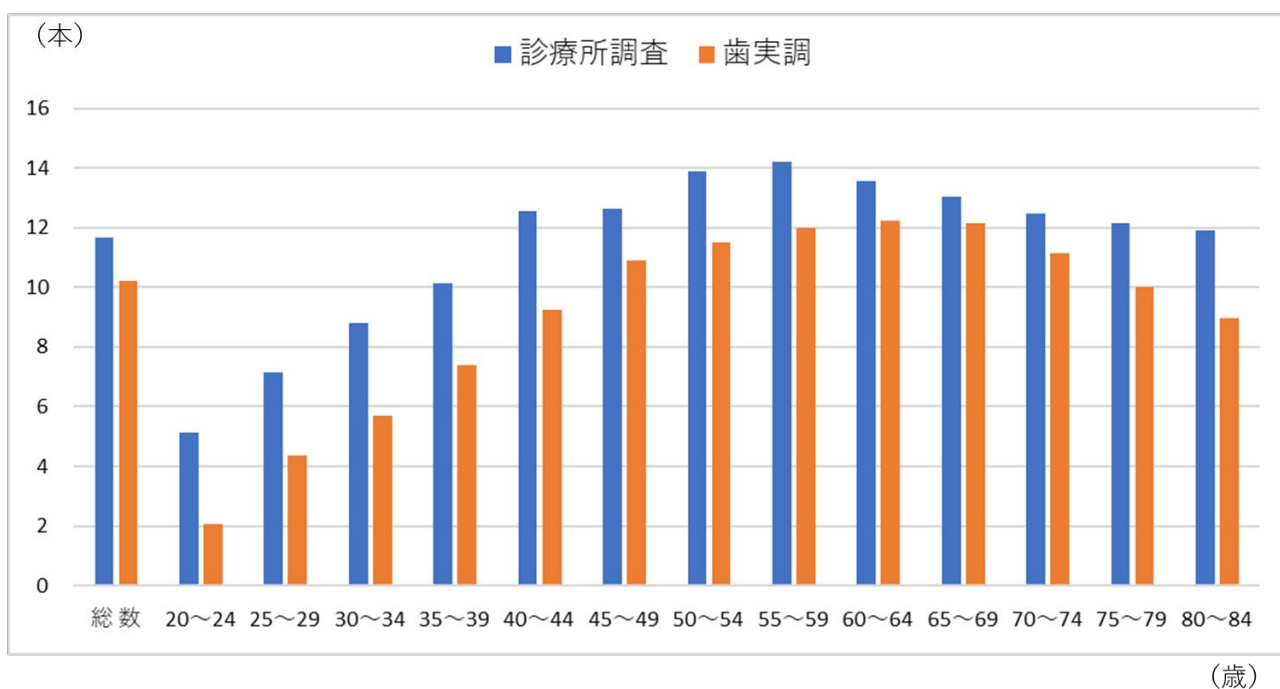


図4. 1人平均処置（充填、クラウン）歯数、年齢階級別（20歳以上85歳未満）

5. 1人平均喪失歯数

歯科診療所調査では、歯科疾患実態調査と比較して、1人平均喪失歯数は、25～29、40～44、45～49、55～59、65～69の年齢階級で高く、75～79、80～84の年齢階級で低かった（表5、図5）。

表5. 1人平均喪失歯数、年齢階級別（20歳以上85歳未満）

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)		1人平均喪失歯数								
	診療所 調査	歯実調	総数			男			女		
			診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value
総数	5732	1942	4.18±6.176	4.94±7.401	<.001	4.54±6.553	5.75±8.306	<.001	3.92±5.881	4.30±6.529	0.087
20～24	306	52	0.30±0.885	0.25±0.968	0.689	0.18±0.662	0.09±0.417	0.516	0.37±0.977	0.38±1.237	0.956
25～29	359	38	0.49±1.080	0.13±0.343	<.001	0.33±0.838	0.07±0.267	0.012	0.61±1.215	0.17±0.381	<.001
30～34	328	74	0.61±1.273	0.47±1.377	0.422	0.57±1.279	0.55±1.734	0.926	0.63±1.272	0.41±1.024	0.306
35～39	421	83	0.75±1.420	0.67±1.531	0.661	0.71±1.324	0.66±1.235	0.843	0.78±1.479	0.69±1.728	0.702
40～44	342	116	1.05±1.919	0.47±1.008	<.001	0.98±1.623	0.36±0.819	<.001	1.10±2.105	0.54±1.119	0.005
45～49	492	145	1.45±2.632	0.85±2.259	0.007	1.62±2.861	0.79±1.925	0.010	1.33±2.463	0.89±2.484	0.152
50～54	470	155	2.02±3.226	1.89±3.907	0.678	2.23±3.642	2.42±5.243	0.745	1.88±2.903	1.52±2.558	0.290
55～59	437	137	3.32±4.676	2.12±3.579	0.002	3.81±5.344	1.98±3.535	0.005	2.96±4.085	2.20±3.623	0.127
60～64	432	177	4.65±5.871	3.69±5.762	0.067	5.66±6.851	5.08±7.475	0.534	3.87±4.869	2.46±3.208	0.002
65～69	473	220	6.32±6.523	4.46±5.560	<.001	7.15±7.127	4.61±5.822	0.001	5.68±5.960	4.34±5.349	0.035
70～74	521	305	7.64±7.153	7.11±7.600	0.315	8.03±7.453	8.09±8.507	0.948	7.36±6.927	6.32±6.706	0.115
75～79	453	258	8.69±7.559	10.22±9.406	0.026	8.73±7.672	11.45±10.305	0.012	8.65±7.477	9.10±8.388	0.590
80～84	698	182	9.73±7.835	12.60±9.452	<.001	9.80±7.973	13.43±9.794	0.002	9.68±7.743	11.82±9.103	0.037

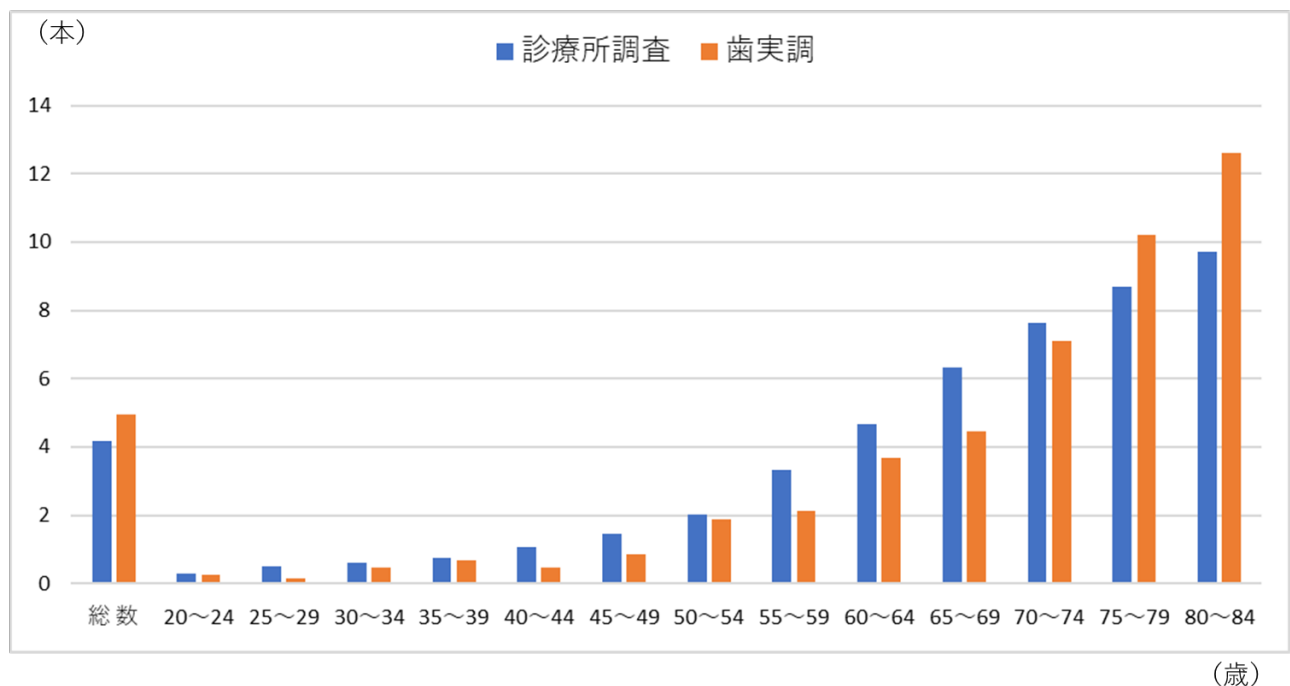


図5. 1人平均喪失歯数、年齢階級別（20歳以上85歳未満）

6. 1人平均現在歯数

歯科診療所調査では、歯科疾患実態調査と比較して、1人平均現在歯数は、45～49、55～59、65～69の年齢階級で低く、75～79、80～84の年齢階級で高かった（表6、図6）。

表6. 1人平均現在歯数、年齢階級別（20歳以上85歳未満）

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)		1人平均現在歯数								
	診療所 調査	歯実調	総数			男			女		
			診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value
総数	5732	1942	24.35±6.490	23.41±7.683	<.001	24.09±6.923	22.71±8.644	<.001	24.53±6.157	23.97±6.777	0.016
20～24	306	52	28.34±1.489	28.48±1.809	0.542	28.62±1.368	28.96±1.461	0.292	28.19±1.532	28.10±1.988	0.775
25～29	359	38	28.41±1.754	28.45±1.572	0.898	28.79±1.696	28.36±0.929	0.143	28.13±1.748	28.50±1.865	0.336
30～34	328	74	28.19±1.895	28.24±2.298	0.831	28.39±2.048	28.30±2.456	0.829	28.05±1.772	28.20±2.193	0.641
35～39	421	83	27.96±1.899	27.94±2.381	0.934	28.15±1.912	28.37±2.808	0.566	27.84±1.884	27.63±1.985	0.470
40～44	342	116	27.63±2.291	27.90±1.696	0.182	27.84±1.925	28.40±1.484	0.070	27.48±2.510	27.55±1.753	0.823
45～49	492	145	27.23±2.923	27.77±2.702	0.038	27.12±3.033	27.82±2.284	0.056	27.30±2.849	27.74±2.982	0.224
50～54	470	155	26.75±3.581	26.45±4.181	0.374	26.61±4.056	25.77±5.350	0.184	26.85±3.216	26.92±3.052	0.847
55～59	437	137	25.26±4.906	26.45±3.850	0.003	24.85±5.591	26.80±3.894	0.005	25.56±4.316	26.24±3.832	0.192
60～64	432	177	23.81±6.125	24.76±6.051	0.083	22.84±7.138	23.51±7.885	0.497	24.55±5.115	25.86±3.441	0.007
65～69	473	220	21.97±6.640	23.80±5.764	<.001	21.25±7.348	23.73±6.073	0.002	22.51±6.005	23.86±5.513	0.038
70～74	521	305	20.62±7.364	20.97±7.799	0.527	20.29±7.701	20.02±8.713	0.763	20.86±7.115	21.73±6.911	0.202
75～79	453	258	19.65±7.841	18.06±9.700	0.025	19.76±8.099	17.04±10.775	0.016	19.57±7.628	18.99±8.538	0.503
80～84	698	182	18.45±8.054	15.55±9.595	<.001	18.52±8.318	14.76±9.997	0.002	18.41±7.866	16.30±9.195	0.042

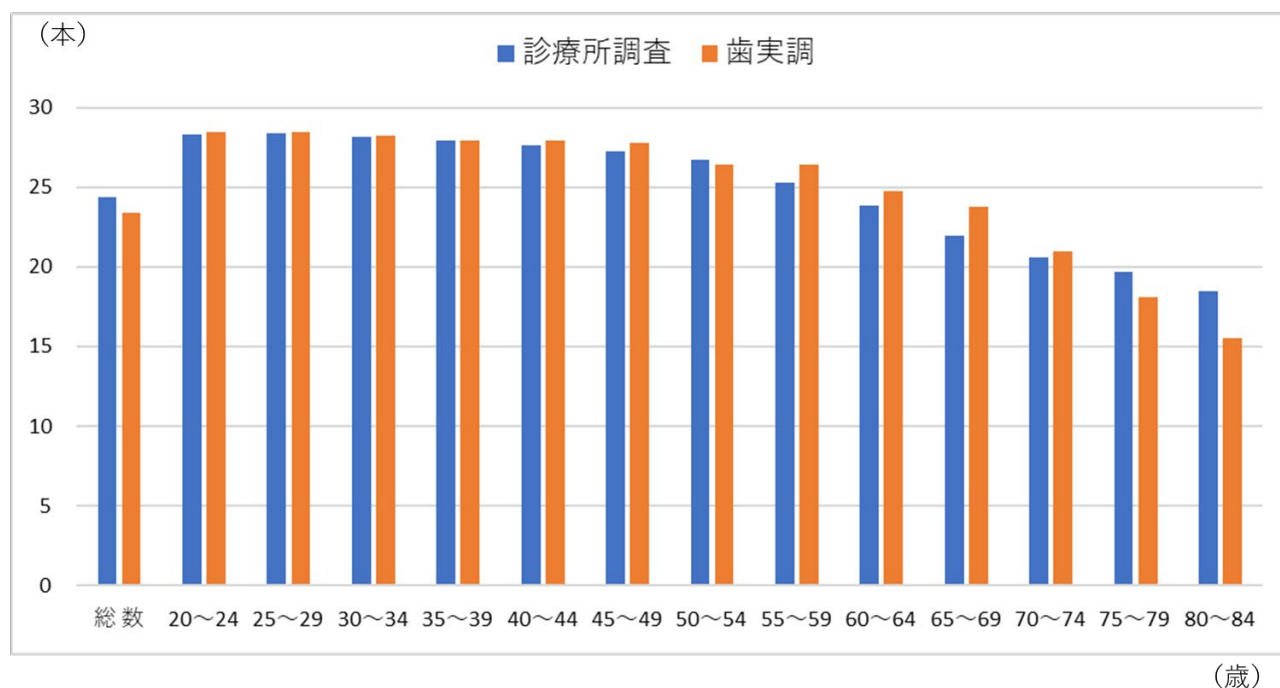


図6. 1人平均現在歯数、年齢階級別（20歳以上85歳未満）

7. 1人平均健全歯数

歯科診療所調査では、歯科疾患実態調査と比較して、1人平均健全歯数は、20～24、25～29、30～34、35～39、40～44、45～49、50～54、55～59、60～64、65～69、70～74の年齢階級で低かった（表7、図7）。

表7. 1人平均健全歯数、年齢階級別（20歳以上85歳未満）

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)		1人平均健全歯数								
	診療所 調査	歯実調	総数			男			女		
			診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value	診療所 調査	歯実調	p value
総数	5732	1942	11.77±7.839	12.38±7.877	0.003	11.83±8.028	12.55±8.385	0.026	11.73±7.703	12.25±7.451	0.050
20～24	306	52	21.91±6.041	25.23±4.643	<.001	21.83±6.305	25.91±5.376	0.003	21.96±5.914	24.69±3.983	0.002
25～29	359	38	19.49±6.706	23.29±4.986	<.001	19.68±7.368	23.43±4.219	0.008	19.35±6.195	23.21±5.469	0.004
30～34	328	74	17.98±6.820	21.35±5.853	<.001	17.98±7.169	21.12±6.244	0.022	17.98±6.584	21.54±5.591	0.001
35～39	421	83	16.75±6.975	19.94±5.894	<.001	16.29±7.506	21.71±7.127	<.001	17.03±6.616	18.65±4.451	0.038
40～44	342	116	13.95±6.600	17.91±5.205	<.001	13.67±6.853	18.98±5.581	<.001	14.15±6.427	17.17±4.838	<.001
45～49	492	145	13.62±6.558	16.20±5.811	<.001	13.70±6.617	16.79±6.083	0.001	13.57±6.528	15.77±5.604	0.003
50～54	470	155	11.98±5.739	14.00±6.071	<.001	12.58±6.253	13.22±7.029	0.496	11.57±5.328	14.55±5.267	<.001
55～59	437	137	10.12±6.074	13.62±5.684	<.001	10.65±6.798	14.84±5.651	<.001	9.73±5.458	12.90±5.611	<.001
60～64	432	177	9.58±5.770	11.99±6.672	<.001	9.53±6.029	12.02±7.141	0.003	9.61±5.577	11.96±6.266	<.001
65～69	473	220	8.43±5.690	10.82±6.367	<.001	8.79±6.313	11.47±6.930	<.001	8.15±5.164	10.27±5.819	<.001
70～74	521	305	7.68±6.068	9.06±6.097	0.002	8.59±6.745	9.45±6.475	0.239	7.03±5.449	8.75±5.775	0.001
75～79	453	258	6.85±5.970	7.15±6.428	0.529	7.23±6.525	7.72±7.335	0.538	6.52±5.441	6.62±5.448	0.856
80～84	698	182	5.83±5.965	5.76±6.368	0.881	6.31±6.456	5.59±6.671	0.362	5.49±5.562	5.91±6.102	0.508

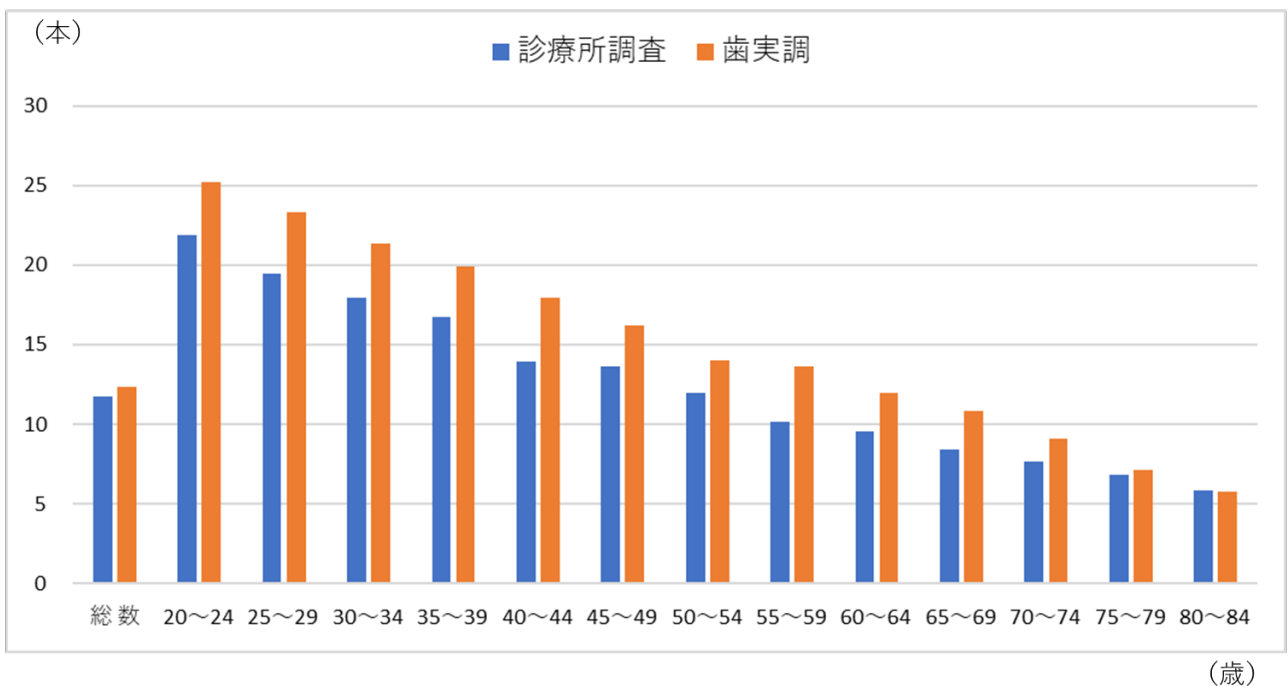


図7. 1人平均健全歯数、年齢階級別（20歳以上85歳未満）

D. 考察

歯科疾患実態調査と比較して歯科診療所調査で高かったものは、1人平均DMF歯数（DMFT指数）、1人平均処置（充填、クラウン）歯数、1人平均現在歯数であった。

一方、歯科疾患実態調査と比較して歯科診療所調査で低かったものは、1人平均歯根面齲蝕（未処置歯）数、1人平均喪失歯数、1人平均健全歯数であった。

歯科診療所調査と歯科疾患実態調査で同様の傾向を示したものは、1人平均未処置歯数であった。

以上の結果から、パンデミック等で歯科疾患実態調査が中止となった場合にも実施可能な調査手法として、歯科診療所の受診患者を対象とした調査手法から、ある一定の精度で歯科疾患実態調査を補完するデータを取得できることが示唆された。今回の結果で示したような所見がみられた理由として、歯科診療所調査1)の対象者（20歳以上84歳までの患者）における歯科医療機関の来院の主な目的は、「歯科治療」と回答した者の割合が52.7%、「定期健診」と回答した者の割合が45.8%、「歯科健康診査（自治体の健診等）」が1.5%であり、歯科治療のため医療受診している者、および定期的な口腔管理を受けている者が混在していることが挙げられる。歯科治療を受けている者では、歯や口の状態について自覚的な症状を有しており、歯科口腔内に治療を要する所見が多い可能性がある。また、定期的な口腔管理を受けている者では、良好な歯科口腔保健行動、および治療済の所見が多い可能性がある。そのため、歯科診療所のデータを利用する場合は、対象者が一般の生活者ではなく、歯科診療所を受診した（している）患者であるという特性を考慮する必要がある。また、市区町村が歯科医師会に委託している「歯周疾患検診」、あるいは都道府県が歯科医師会に委託している「県民歯科疾患実態調査」等のデータの活用も検討されるべきである。

E. 結論

パンデミック等で歯科疾患実態調査が中止となった場合にも実施可能な調査手法として、歯科診療所の受診患者を対象とした調査手法から、ある一定の精度で歯科疾患実態調査を補完するデータを取得できることが示唆された。しかしながら、歯科診療所データを利用する場合は、対象者が一般の生活者ではなく、歯科診療所を受診した（している）患者であるという特性を考慮する必要がある。

F. 引用文献

- 1) 石塚洋一、三浦宏子、大島克郎、福田英輝.

厚生労働行政推進調査事業費（地域医療基盤開発推進研究事業）歯科疾患実態調査の効率的・効果的な実施方法等に関する研究
令和5年度 分担研究報告書.

<https://mhlw-grants.niph.go.jp/project/170870>（2025年4月18日アクセス）

- 2) 石塚洋一、福田英輝、田口円裕.

厚生労働行政推進調査事業費補助金（厚生労働科学特別研究事業）我が国の歯科口腔保健の実態把握を継続的・安定的に実施する手法の開発のための調査研究
令和4年度 分担報告書.

<https://mhlw-grants.niph.go.jp/project/161692>（2025年4月18日アクセス）

G. 研究発表

該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

該当なし